

1
2 図表・写真は、別途1枚ずつ作成してい
3 ますが、本文中に図表を縮小して挿
4 入し、実際に判読できるか確認できよう
5 にしてください（ファイルが過度に重くな
6 らないように注意願います）。

7 高解像度のものを一点ずつ手元で保存し
8 ておき、入稿時に編集委員会より求められ
9 た場合にはすぐに提出できるよう準備して
10 おく

11
12
13 図1 ○○と××との関係
14
15

16
17 V おわりに
18
19
20
21

22 参考文献

23
24 山田太郎, 2008, 『環境教育の歴史』, 環境出版, 東京,
25 257pp.

26 参考文献が単行本の場合
27
28

29 山田太郎, 2008, 「環境教育と人間の発達過程」, 鈴木
30 花子・田中次郎編『日本における環境教育の発展過程』,
31 環境出版, 東京, 129-156.

32 参考文献が単行本中の分担
33 執筆論文等の場合
34
35

36 山田太郎・鈴木花子, 2008, 「環境保全活動における参加
37 者の環境に関する知識の変化」, 『環境教育』, 34 :
38 129-138.

39 参考文献が雑誌の場合
40
41

42 総合的な学習の時間, 文部科学省,
43 <http://www.mext.go.jp> …… .pdf (2011年2月11日
44 アクセス)

45 Webサイトからの引用の場
46 合(末尾に、最後に確認した
47 年月日を入れる)
48
49

50 *欧文の文献の場合、単行本や雑誌の名称はイタリック
51 体とする。

52 *同一年に同一著書の引用があった場合、著者名、年の
53 あとに、a, b, c を入れる。

54 *英文表示の著者名は、下記のように姓を先に記載し、
55 カンマをつけファーストネーム等と区別すること。

56

57 Yamada, T. and Suzuki, H., 2008, Developmental
58 Process of Environmental Education Study in Japan,
59 *Environmental Education*, 2(2), 8-21.

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

1

2

○図表原稿は、原稿本文に埋め込むとともに、できるだけ原稿本文に続けて付け、1つのファイルにまとめるものとするが、1つのファイルにまとめることが困難な場合は、ファイルをわけてもよい。

その場合、ファイル名は、

投稿原稿（著者名）1

投稿原稿（著者名）2

… のようにする。